

神奈川県保健医療計画 進捗状況評価調書

＜項目＞

第6章 患者の視点に立った質の高い医療体制の整備

第6節 血液確保対策と適正使用

とりまとめ担当課：健康医療局生活衛生部薬務課

1 課題に対するこれまでの取組実績

(1) 献血者の確保	
→	県、市町村及び県赤十字血液センター等が取組むべき献血推進施策を示した「平成30年度神奈川県献血推進計画」を策定した。
→	主として小学生を対象とした献血擬似体験イベント「キッズ献血」を県赤十字血液センターと共催するとともに、県のキャラクター「かなかなかぞく」による献血啓発動画を配信するなど若年層に対し啓発を図った。
→	「愛の血液助け合い運動」「はたちの献血」の全国キャンペーンや、県独自の春と秋のキャンペーンを通じて、献血に対する正しい知識と情報提供を行った。
(2) 血液製剤の適正使用	
→	国が進める血液製剤の適正使用にかかる事業に協力するとともに、神奈川県合同輸血療法委員会などを通じて、医療機関での適正使用を推進した。

2 参考指標の推移

取組区分	指標区分	指標名	単位	神奈川県				出典等
				H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	
(1)	県	献血者数実績及び目標達成率	人	296,828 (95.1%)	297,871 (95.0%)	301,032 (98.5%)	298,216 (96.5%)	県赤十字血液センター
(1)	県	献血量実績及び目標達成率	リットル	108,047 (84.7%)	120,669 (95.4%)	124,660 (101.4%)	122,394 (96.9%)	県赤十字血液センター

3 課題ごとの進捗状況の評価

(1) 献血者の確保

評価	A ・ (B) ・ C ・ D
評価分析	「平成29年度神奈川県献血推進計画」に基づき、県、市町村及び県赤十字血液センター等事業を実施した。
評価理由	献血者数については目標の96.5%、献血量については目標の96.9%を確保し、概ね目的を達成するなど、課題解決に向けて、比較的順調に進捗した。

第7次計画 (H30～H35) での取組の 方向性	<p>P186</p> <ul style="list-style-type: none"> ・神奈川県赤十字血液センター及び市町村と緊密な連携を図り、献血者の確保を進める。 ・若年層を中心とした幅広い世代への普及活動を行い、献血に対する正しい知識と情報の提供を行う。 ・献血者の減少時に対応できるよう、安定的な提供者である複数回献血者の確保や企業などの協力による集団献血の実施体制を整備する。
------------------------------------	--

(2) 血液製剤の適正使用

評価	A ・ (B) ・ C ・ D
評価分析	神奈川県合同輸血療法委員会を1回開催し、本県の輸血療法の現状、輸血に関する話題等を提供するとともに、医療機関での適正使用を推進した。
評価理由	計画どおり、国が進める血液製剤の適正使用にかかる事業に協力するとともに、神奈川県合同輸血療法委員会などを通じて、医療機関での適正使用を推進するなど、課題解決に向けて比較的順調に進捗した。
第7次計画 (H30～H35) での取組の 方向性	<p>P187</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国が進める血液製剤の適正使用にかかる事業に協力するとともに、「神奈川県合同輸血療法委員会」や各種会議の場で各方面からの情報を収集し、血液製剤の適正使用を進める。

4 総合評価

評価	評価理由
B	血液確保対策と適正使用については、神奈川県血液センターと緊密な連絡を取りながら、いずれの課題についても課題解決に向けて比較的順調に進捗した。